

「テロ対策パートナーシップ和歌山」通信【第17号】

令和5年12月14日

テロ対策パートナーシップ
和歌山事務局

2025年に日本国際博覧会の開催が予定されています。

2025年には日本国際博覧会（大阪・関西万博）が控えています。こうした国際的に注目を集めるイベントは、テロの格好の攻撃対象であり、過去、海外では大規模イベント開催時にテロが発生しています。

博覧会開催に伴い、国内外から多くの来場者が見込まれていますので、隣県である和歌山においても警戒が必要です。

「テロ対策パートナーシップ和歌山総会」及び「サイバーテロ対策連絡協議会」の合同開催

令和5年9月29日（金）、和歌山城ホールにおいて、「テロ対策パートナーシップ和歌山総会」及び「サイバーテロ対策連絡協議会」を合同で開催しました。

同会では、テロ対策パートナーシップ和歌山の本会員である事業者様に参加していただき、警察による国際テロ情勢、サイバーテロ情勢の説明及びサイバーセキュリティ講師による講演会を実施しました。



官民連携によるテロ対策訓練を実施

南海和歌山市駅構内における
NBCテロ対策訓練（9月8日）



イオンモール和歌山における
NBCテロ対策訓練（11月16日）



和歌山電鐵株式会社における
NBCテロ対策訓練（11月22日）



会員の皆様が実施されたテロ対策に関する活動状況をお寄せください。



テロ対策は、警察による取組のみでは十分ではなく、関係機関、民間事業者等と連携して推進することが望まれます。県警察では、不特定多数の者が集まる施設、イベント等において、制服警察官による巡回等の「見せる警戒」を実施するほか、施設管理者等に対して、職員や警備員による自主警備を働きかけています。

テロの未然防止に向けた警察の取組への御理解と御協力をお願いします。

テロ対策パートナーシップ 和歌山事務局
電話 073-423-0110
(内線 5546・5821・5822)

ホームページは
こちらから

